平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名　株式会社 タカギセイコー　　上場取引所　JQ
コード番号　4242　URL　http://www.takagi-seiko.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）笠井　千秋
問合せ先責任者（役職名）取締役管理本部長　（氏名）石黒　勝己　TEL 0766-24-5522
四半期報告書提出予定日　平成21年11月12日　配当支払開始予定日　平成21年12月4日

（百万円未満切捨て）

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	22,413	△25.1	208	△65.9	259	△53.6	101	△47.0
21年3月期第2四半期	29,905	△4.5	610	△64.8	558	△67.7	192	△77.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	7.61	—
21年3月期第2四半期	14.20	14.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	42,841	10,163	19.9	636.74
21年3月期	41,923	9,729	19.7	616.08

（参考）自己資本　22年3月期第2四半期　8,528百万円　21年3月期　8,251百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.50	—	1.50	8.00
22年3月期	—	2.50			
22年3月期（予想）			—	2.50	5.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成22年3月期の連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,330	△21.7	250	△73.4	150	△75.6	60	102.9	4.48

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年3月期第2四半期	13,581,860株	21年3月期	13,581,860株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	187,720株	21年3月期	187,720株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	22年3月期第2四半期	13,394,140株	21年3月期第2四半期	13,541,947株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年5月15日公表の通期連結業績予想を修正しております。上記に記載した業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

・定性的情報・財務諸表等

1.　連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気悪化にようやく底打ちの兆しが見えてきたとの見方が出される一方、個人消費や企業収益は伸び悩んでおり、また、金融危機の影響による市場や景気に対する下振れリスクも依然として残っており、予断を許さない状況で推移しました。

当業界におきましても、在庫調整が一巡した顧客は一部ではあるものの、生産活動は低い水準で推移してきている中、原油、ナフサ価格の再上昇および為替変動による懸念材料もあり、引き続き厳しい事業環境となりました。

このような状況下において、当第２四半期連結累計期間の売上高は、22,413,206千円（前年同期比25.1％減）となりました。他方、損益面では徹底した総原価低減活動を実施したものの、経常利益は259,204千円（前年同期比53.6％減）となりました。また、税金等調整前四半期純利益は217,464千円（前年同期比60.7％減）となり、四半期純利益は101,956千円（前年同期比47.0％減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①　成形品事業

車両分野において、二輪部品事業では引き続き世界的な景気低迷の影響を受け、中・大型バイク部品の受注数量が大きく減少するとともに、四輪部品事業においても、主要顧客の減産の影響により受注数量が減少した結果、前年同期比減収となりました。また、ＯＡ分野においても、精密機能部品及び特殊成形部品等への狙いを絞った積極的な営業を展開しましたが、主要顧客の減産による厳しい受注環境により、前年同期比減収となりました。さらに、通信機器分野においても、国内外での加飾および高剛性技術による積極的な営業展開を実施したものの、前年同期比微減となりました。

その結果、当事業区分の売上高は21,785,653千円（前年同期比25.5%減）、営業利益は142,934千円（前年同期比74.4％減）となりました。

②　その他の事業

その他の事業では、移動通信機器等の販売を中心に積極的な事業展開を行った結果、売上高は627,553千円（前年同期比3.6％減）と減収となったものの、営業利益は63,911千円（前年同期比22.3％増）となりました。

所在地別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①　日本

成形品事業、特に車両分野における二輪部品の大幅な受注数量の減少により、売上高は17,959,564千円（前年同期比26.3％減）、営業利益は127,326千円（前年同期比53.5％減）となりました。

②　中国

パソコン筐体部品等の受注数量の減少等により、売上高は2,208,407千円（前年同期比12.1％減）、営業損失は2,196千円（前年同期比85.1％減）となりました。

③　東南アジア

インドネシアにおける車両部品等の受注数量の減少により、売上高は2,245,234千円（前年同期比26.0％減）、営業利益は84,198千円（前年同期比76.3％減）となりました。

2.　連結財政状態に関する定性的情報

①　流動資産

当第２四半期連結会計期間末における流動資産合計は、19,939,121千円となり、前連結会計年度末と比べ38,790千円増加しました。これは受注量の減少に伴う受取手形及び売掛金の減少（688,808千円減）があったものの、仕掛品の増加（590,366千円増）があったことが主な要因であります。

②　固定資産

当第２四半期連結会計期間末における固定資産合計は、22,902,051千円となり、前連結会計年度末と比べ878,763千円増加しました。これは有形固定資産の増加（732,572千円増）が主な要因であります。

③　流動負債

当第２四半期連結会計期間末における流動負債合計は、21,619,034千円となり、前連結会計年度末と比べ1,475,438千円増加しました。これは短期借入金の増加（1,737,094千円増）が主な要因であります。

④　固定負債

当第２四半期連結会計期間末における固定負債合計は、11,058,880千円となり、前連結会計年度末と比べ991,204千円減少しました。これは長期借入金の減少（1,150,785千円減）が主な要因であります。

⑤　純資産

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は、10,163,257千円となり、前連結会計年度末と比べ433,319千円増加しました。これはその他有価証券評価差額金の増加（91,629千円増）及び利益剰余金の増加（81,865千円増）等が主な要因であります。

資本の財源及び資金の流動性についての分析

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第２四半期連結会計期間末と比較して305,314千円増加し、2,403,107千円（前年同期比14.6％増）となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は1,203,258千円（前年同期比1491.5％増）となりました。増加要因は主に、減価償却費1,510,190千円、売上債権の減少額823,746千円等によるものです。減少要因は主に、たな卸資産の増加額514,102千円、仕入債務の減少額459,931千円、賞与引当金の減少額326,027千円等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は1,448,175千円（前年同期比43.3％減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,448,313千円によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は117,475千円（前年同期は財務活動により得られた資金984,190千円）となりました。増加要因は短期借入金の純増減額1,621,662千円、減少要因は主に、長期借入金の返済による支出1,582,206千円、リース債務の返済による支出433,621千円等によるものです。

3.　連結業績予想に関する定性的情報

平成21年５月15日付「平成21年３月期　決算短信」にて公表しました、通期連結業績予想を修正しております。なお、当該業績予想の修正の詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4.　その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①原価差異の配賦方法

予定価格等を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を、年度決算と比較して簡便的に事業種類別の区分により実施する方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

④税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

⑤経過勘定項目の算定方法

固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少なものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

⑥未実現損益の消去

四半期連結会計期間末在庫高に占める当該棚卸資産の金額及び当該取引に係る損益率を合理的に見積って計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5.【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成21年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,500,910	2,765,516
受取手形及び売掛金	6,842,640	7,531,448
商品	13,315	48,614
製品	683,672	722,831
原材料	1,019,904	964,773
仕掛品	4,045,948	3,455,581
貯蔵品	203,994	208,898
未収入金	3,445,747	3,124,877
その他	1,183,879	1,078,669
貸倒引当金	△892	△879
流動資産合計	19,939,121	19,900,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,996,327	5,105,861
機械装置及び運搬具（純額）	5,573,188	5,171,782
土地	5,396,546	5,396,546
建設仮勘定	152,441	165,956
その他（純額）	2,110,995	1,656,780
有形固定資産合計	18,229,499	17,496,927
無形固定資産		
のれん	112,713	135,340
その他	379,546	399,330
無形固定資産合計	492,259	534,670
投資その他の資産		
投資有価証券	1,535,029	1,362,981
その他	2,681,493	2,664,938
貸倒引当金	△36,230	△36,230
投資その他の資産合計	4,180,292	3,991,690
固定資産合計	22,902,051	22,023,288
資産合計	42,841,173	41,923,619

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成21年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,954,332	11,301,378
短期借入金	3,778,654	2,041,559
1年内返済予定の長期借入金	2,842,480	2,936,347
未払法人税等	112,568	102,909
賞与引当金	291,447	616,859
役員賞与引当金	4,475	9,157
その他	3,635,075	3,135,384
流動負債合計	21,619,034	20,143,596
固定負債		
長期借入金	6,076,256	7,227,041
退職給付引当金	4,273,911	4,193,162
役員退職慰労引当金	168,704	159,437
その他	540,008	470,443
固定負債合計	11,058,880	12,050,084
負債合計	32,677,915	32,193,680
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,080,955	2,080,955
資本剰余金	1,767,387	1,767,387
利益剰余金	4,864,291	4,782,425
自己株式	△45,413	△45,413
株主資本合計	8,667,219	8,585,354
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	23,469	△68,159
為替換算調整勘定	△162,125	△265,276
評価・換算差額等合計	△138,656	△333,436
新株予約権	5,214	1,146
少数株主持分	1,629,480	1,476,873
純資産合計	10,163,257	9,729,938
負債純資産合計	42,841,173	41,923,619

(2)【四半期連結損益計算書】
【第２四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）
売上高	29,905,017	22,413,206
売上原価	26,349,959	19,857,263
売上総利益	3,555,058	2,555,943
販売費及び一般管理費	2,944,108	2,347,720
営業利益	610,950	208,223
営業外収益		
受取利息	15,705	4,304
受取配当金	15,673	16,423
為替差益	－	53,905
作業屑売却収入	52,366	18,931
助成金収入	－	124,714
その他	73,908	56,536
営業外収益合計	157,654	274,815
営業外費用		
支払利息	152,557	158,287
為替差損	2,663	－
その他	55,158	65,547
営業外費用合計	210,378	223,834
経常利益	558,225	259,204
特別利益		
固定資産売却益	8,273	6,500
投資有価証券売却益	13,000	25,000
特別利益合計	21,273	31,500
特別損失		
固定資産売却損	285	3,289
固定資産除却損	25,895	69,950
特別損失合計	26,181	73,239
税金等調整前四半期純利益	553,317	217,464
法人税等	297,345	105,641
少数株主利益	63,676	9,865
四半期純利益	192,295	101,956

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	553,317	217,464
減価償却費	1,173,529	1,510,190
賞与引当金の増減額（△は減少）	△543,670	△326,027
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△65,282	△4,681
退職給付引当金の増減額（△は減少）	11,142	76,854
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△76,682	9,266
貸倒引当金の増減額（△は減少）	997	13
受取利息及び受取配当金	△31,379	△20,727
支払利息	152,557	158,287
為替差損益（△は益）	5,757	△121,830
持分法による投資損益（△は益）	1,066	△3,964
投資有価証券売却損益（△は益）	△13,000	△25,000
有形固定資産売却損益（△は益）	△7,987	△3,210
有形固定資産除却損	25,895	69,950
売上債権の増減額（△は増加）	1,659,749	823,746
たな卸資産の増減額（△は増加）	△626,923	△514,102
仕入債務の増減額（△は減少）	△901,621	△459,931
その他	△612,558	65,332
小計	704,908	1,451,630
利息及び配当金の受取額	32,667	20,727
利息の支払額	△160,258	△164,973
法人税等の支払額	△501,713	△104,125
営業活動によるキャッシュ・フロー	75,603	1,203,258
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△753,225	△36,321
定期預金の払戻による収入	163,600	14,000
有形固定資産の取得による支出	△1,337,538	△1,448,313
有形固定資産の売却による収入	6,000	61,207
無形固定資産の取得による支出	△45,607	△14,630
投資有価証券の取得による支出	△101,612	△17,000
投資有価証券の売却による収入	113,000	25,000
子会社株式の取得による支出	△239,776	△55,418
長期貸付けによる支出	△337,920	△1,400
その他	△19,421	24,700
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,552,499	△1,448,175

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	71,746	1,621,662
長期借入れによる収入	2,226,450	199,020
長期借入金の返済による支出	△1,190,915	△1,582,206
リース債務の返済による支出	△77,954	△433,621
自己株式の取得による支出	△1,841	－
配当金の支払額	△108,354	△20,091
少数株主への配当金の支払額	△26,718	△25,567
少数株主からの払込みによる収入	101,678	130,990
その他	△9,899	△7,661
財務活動によるキャッシュ・フロー	984,190	△117,475
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,283	81,053
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,487,421	△281,340
現金及び現金同等物の期首残高	3,585,213	2,684,447
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,097,792	2,403,107

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間（自　平成20年４月１日　至　平成20年９月30日）

（単位：千円）

	成形品事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1)　外部顧客に対する売上高	29,253,816	651,201	29,905,017	－	29,905,017
(2)　セグメント間の内部売上高又は振替高	27,364	37,885	65,250	(65,250)	－
計	29,281,181	689,086	29,970,267	(65,250)	29,905,017
営業利益	557,786	52,251	610,038	912	610,950

（注）１．事業区分は内部管理上採用している区分によっております。

２．各事業の主な製品

(1)成形品事業　…車両（二輪・四輪）、建機等の車両機器部品
プリンター、複写機等のＯＡ機器部品
携帯電話筐体部品

(2)その他の事業…携帯電話を中心とする通信機器端末の販売、不動産賃貸
損害保険の販売代理及び人材派遣業等

当第２四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年９月30日）

（単位：千円）

	成形品事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1)　外部顧客に対する売上高	21,785,653	627,553	22,413,206	－	22,413,206
(2)　セグメント間の内部売上高又は振替高	27,634	41,252	68,887	(68,887)	－
計	21,813,288	668,805	22,482,094	(68,887)	22,413,206
営業利益	142,934	63,911	206,846	1,376	208,223

（注）１．事業区分は内部管理上採用している区分によっております。

２．各事業の主な製品

(1)成形品事業　…車両（二輪・四輪）、建機等の車両機器部品
プリンター、複写機等のＯＡ機器部品
携帯電話筐体部品

(2)その他の事業…携帯電話を中心とする通信機器端末の販売、不動産賃貸
損害保険の販売代理及び人材派遣業等

【所在地別セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間（自　平成20年４月１日　至　平成20年９月30日）

（単位：千円）

	日本	中国	東南アジア	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)　外部顧客に対する売上高	24,359,429	2,511,346	3,034,241	29,905,017	－	29,905,017
(2)　セグメント間の内部売上高又は振替高	153,314	280,607	－	433,921	(433,921)	－
計	24,512,744	2,791,953	3,034,241	30,338,939	(433,921)	29,905,017
営業利益又は損失（損失は△）	274,061	△14,716	355,412	614,758	(3,808)	610,950

（注）１．国又は地域は、地理的近接度によっております。

２．本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1)中国…中華人民共和国、香港

(2)東南アジア…インドネシア、タイ

当第２四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年９月30日）

（単位：千円）

	日本	中国	東南アジア	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)　外部顧客に対する売上高	17,959,564	2,208,407	2,245,234	22,413,206	－	22,413,206
(2)　セグメント間の内部売上高又は振替高	175,901	339,299	1,399	516,601	(516,601)	－
計	18,135,466	2,547,707	2,246,633	22,929,807	(516,601)	22,413,206
営業利益又は損失（損失は△）	127,326	△2,196	84,198	209,328	(1,105)	208,223

（注）１．国又は地域は、地理的近接度によっております。

２．本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1)中国…中華人民共和国、香港

(2)東南アジア…インドネシア、タイ

【海外売上高】

前第２四半期連結累計期間（自　平成20年４月１日　至　平成20年９月30日）

（単位：千円、％）

	中国	欧米	東南アジア	計
Ⅰ　海外売上高	1,248,426	105,427	3,378,636	4,732,491
Ⅱ　連結売上高	－	－	－	29,905,017
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合	4.2	0.3	11.3	15.8

（注）１．国又は地域は、地理的近接度によっております。
２．本邦以外の区分に属する主な国又は地域
(1)中国…中華人民共和国、香港他
(2)欧米…米国、アイルランド、スペイン、フィンランド他
(3)東南アジア…インドネシア、タイ他
３　海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第２四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年９月30日）

（単位：千円、％）

	中国	欧米	東南アジア	計
Ⅰ　海外売上高	1,329,074	16,011	2,343,684	3,688,770
Ⅱ　連結売上高	－	－	－	22,413,206
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合	5.9	0.1	10.5	16.5

（注）１．国又は地域は、地理的近接度によっております。
２．本邦以外の区分に属する主な国又は地域
(1)中国…中華人民共和国、香港他
(2)欧米…米国、アイルランド、スペイン、フィンランド他
(3)東南アジア…インドネシア、タイ他
３　海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし